



Title	卷頭言
Author(s)	芒亭
Citation	各務時報, 特別号「麦」
Issue Date	1936
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/77653">http://hdl.handle.net/2115/77653</a>
Type	column
File Information	A018_02_03all_Part41.pdf



[Instructions for use](#)

## 卷頭言

麥畑に取り囲まれた村の景觀は其を遠望して都會の詩人も歌によむがよい。だが麥と共に呼吸する百姓達の體驗の中からこそ最も偉大なる麥の詩は出づ

可きではないか。

こゝに集められた「麥を取り入れた風景畫」は扮飾に拙き土の子等の筆のすさび。だが遠くから眺めた麥畑ではなく麥畑に立つて凝視した麥の性格である。麥の葉々々が天日のもとに光つては居ないか。(芒亭)